

子どもの学びや心を育む図書に関する検討 — 絵本から主題を読みとる分析を通して —

吉村希至, 松井 徹, 奥村正彦, 竹本 茜

岐阜女子大学 文化創造学部

(2019年11月14日受理)

Consideration about the book which brings child's learning and heart up — Through the analysis which reads a theme from a picture book —

Department of Cultural Development, Faculty of Cultural Development,
Gifu Women's University, 80 Taromaru, Gifu, Japan (〒501-2592)

YOSHIMURA Mareshi, MATUI Tooru,
OKUMURA Masahiko, TAKEMOTO Akane

(Received November 14, 2019)

要 旨

絵本は子どもの学びや心を育む上で不可欠である。本論は、絵本を選書する際の検討の中で、絵本の内容や表現などから読みとれる特徴的な主題を明らかにすることを目的としている。幼児教育の場では、絵本に親しみ、読み聞かせなどが日常的に行われている。保育者、保育・教育に関わる学生、保護者等の絵本の読み手は、絵本から読みとれる主題を、子どものための絵本選書の手立てにすることが多い。そこで、子どもの学びや心を育む視点から、絵本の主題に関する読み手の側からの調査・分析を行い、図書資料の検討を進めた。これにより、それぞれの絵本の内容や表現から読みとれる主題の特徴が明らかになった。

キーワード：絵本, 主題, 道徳性, 選書, 幼児教育

1. 目 的

幼児期において絵本や物語の世界に浸る体験が重要である。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、及び解説(2017)において、いずれにもそのことが記述されている。「日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵

本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友達と心を通わせる。」「幼児は、絵本や物語などの中に登場する人物や生き物、生活や自然などを自分の体験と照らし合わせて再認識したり、自分の知らない世界を想像したりして、イメージを一層豊かに広げていく。」

幼児教育の場では絵本の読み聞かせが日常

的に行われている。絵本の選書に関する研究については、藤岡ら(2016)により、幼稚園の保育記録から読み聞かせを行った絵本のタイトル収集と分析がされ、教育課程に位置付ける絵本の活用プラン策定が示唆されている。森(2019)により実習に出る保育者養成校学生の選書傾向と理由の分析から自身の経験や思い出が強く影響していることがわかった。

保育者や学生は選書の際、実際に選者が一冊一冊手にとって読解したり、経験、思い出、紹介、評判に頼ったりして手がかりを求めている。しかし、絵本ガイドの多くは、書名、作者(文・絵・訳)、出版社、定価、あらすじや内容紹介、対象年齢等に限定されている。一部の限られた主題に関連する絵本が紹介されているガイドはあるが、あらゆる視点から分析・整理してまとめられているものはみあたらない。子どもが絵本に親しみ絵本を読むことを通して、何を学び、子どもにとってどのような育ちの糧になるのかなどについて、端的に示されているものがない。そこで、絵本からどのような学びや育ちが得られるのか明らかにしたいと考えた。

2. 絵本の主題について

絵本を読むと、その1冊の絵本の内容や表現などから、何かを感じたり、考えさせられたり、新たな見方を得たり、思わず表したくなったり語りたくなったりすることがある。このように、ある絵本を読んで、心が動かされたこと、学びとれたことなどを、本論では絵本の主題とする。

絵本の主題を示す項目の設定に当たっては、子どもの学びや育ちを育む立場から、幼児教育における「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や「健康」「人間関係」「環境」

「言葉」「表現」の5領域、また小学校学習指導要領を参考にした。小学校道徳科では、道徳資料において絵本からの引用や文と絵などを活用している実践事例が多くみられる。また絵本には子どもの道徳性を育てる内容が含まれていることが多い。そこで、幼児・児童が人間としてよりよく生きていく上で学ぶことが必要と考えられる道徳的価値を含む道徳科における内容項目を、絵本の主題を読みとる視点として入れた。(表1:1~22項目)

さらに、道徳性に関する内容項目以外に、子どもの全ての学びや生活、活動場面を通して、絵本から読みとれる次の主題を分析の視点として取り入れた。「23. 基本的生活習慣の習得」(挨拶、衣服の着脱、食事、手洗いうがいなど)、「24. 生活・安全上のきまり、対応の仕方」(公共マナー、公共施設使い方など)、「25. 遊び・遊び方など」(伝承遊び、集団遊び、ゲームなど)、「26. 表現、想像など」(絵や言葉から自分の想像を広げていくような絵本など)、「27. 行事、イベントなど」(家庭や園、学校、地域で行われる行事やイ

表1 絵本の主題の内容項目

1. 善悪の判断、自律、自由と責任	13. 公正、公平、社会正義
2. 正直、誠実	14. 勤労、公共の精神
3. 節度、節制	15. 家族愛、家庭生活の充実
4. 個性の伸長	16. よりよい学校生活、 集団生活の充実
5. 希望と勇気、努力と強い意志	17. 伝統と文化の尊重、国や 郷土を愛する態度
6. 真理の探究	18. 国際理解、国際親善
7. 親切、思いやり	19. 生命の尊さ
8. 感謝	20. 自然愛護
9. 礼儀	21. 感動、畏敬の念
10. 友情、信頼	22. よりよく生きる喜び
11. 相互理解、寛容	23. 基本的生活習慣の習得
12. 規則の尊重	24. 生活・安全上のきまり、対応の仕方
	25. 遊び・遊び方など
	26. 表現、想像など
	27. 行事、イベントなど
	28. 学習(教科名:)
	29. その他()

ベントなど), 「28. 学習」(いわゆる学習絵本のように学習, 知識, 図鑑などで, 学習内容についてのどの教科に関係するか記述すること)の項目である。上記項目のどれにも該当しないものについては, 「29. その他」とした。(表1: 23~29項目)

3. 調査方法

(調査協力者)

A大学の女子学生188名の学生を対象。調査を3回(2019年7月12日, 7月17日, 9月18日)実施。のべ228名の学生が回答。

(調査内容, 方法)

調査は, A大学図書館所蔵の絵本を任意に選択し, まず一冊を読んだ後, その内容に関して回答する方法で実施した。一冊につき一件の回答を行う。質問内容は次のようである。

- ・絵本タイトル, A大学図書館蔵書番号記入
- ・主題の内容項目No.1~29より1つ選択。

No.28 選択の場合は教科名等, No.29 選択の場合は自分の考える主題を記入。(表2)

- ・選択した主題がよく表れている箇所(該当文章, 場面絵等)を記述。
- ・該当絵本に関する意見を記述。

その後, 新たに次の絵本も選択し回答を行っていった。従って一人の学生が複数の絵本を選択し, その数だけそれぞれ回答を行っていくことになる。(図1, 図2)

(回答数)

- ・内容分析の総回答数…866件(内無効9件)
- ・内容分析の有効回答数…857件
- ・分析が得られた絵本の冊数…184冊

4 調査結果と考察

絵本を任意選択にしたため, 1冊につき99件回答が得られた絵本「おおきなかぶ」もあ

れば, 5件未満の回答しか得られない絵本もあった。より客観性を求めて, 本論では1冊につき10件以上分析が得られた絵本について対象とすることにした。ある絵本についての調査分析から, 選択した主題の特徴をみると, 1つの主題に集中しているものと, 複数のテーマ選択がされているものがあった。次に絵本を取り上げて, 選択された主題の分析結果について示す。

(1) 絵本「ももたろう」の主題

「ももたろう」の主題の内容分析シートは16件回収でき, いずれも有効であった。主題選択の項目は, 表3に示したとおりである。

「No.5, 希望と勇気, 努力と強い意志」項目が6件で一番多かった。この項目の選択者は, 主題がよく表れているとした箇所に関して, 次のように記述している。

- ・ももたろうが鬼を倒しに行く決意を, おじいさんとおばあさんに話す場面。
- ・実際に鬼と対峙した時の場面。

このことから, ももたろうが鬼と立ち向かう強い意志を持ち, 勇気をだして対決する姿に, No.5の主題の読みとりをしたと考えられる。

次に「No.10 友情・信頼」4件の記述をみる。
・ももたろうが犬と猿たちにきびだんごを分けてあげる場面

- ・みんなで鬼に立ち向かう場面

No.10の主題を, ももたろうと動物たちの関係が読みとれる場面から選択したと考えられる。

この絵本では様々な主題の読みとりがされていることが明らかになった。

(2) 絵本「ともだちや」の主題

「ともだちや」の主題の内容分析シートは13件回収でき, いずれも有効であった。主題選択の項目は, 表4に示したとおりである。

表 2 主題の内容項目一覧

	No.	テーマ項目	「テーマ」内容項目についての説明
A 自分自身	1	善悪の判断 自律 自由と責任	よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと 自由を大切にし、自律的に判断し、責任ある行動をすること
	2	正直・誠実	うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること
	3	節度・節制	健康や安全に気を付け物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする
	4	個性の伸長	自分の特徴に気づくこと 短所を改め、長所を伸ばすこと
	5	希望と勇気 努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと 自分の決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと
	6	真理の追究	真理を大切に、物事を探求しようとする心をもつこと
B 人との 関わり	7	親切 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること 誰に対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること
	8	感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること 日々の生活や自分があることに感謝しそれに応えること
	9	礼儀	気持のよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること
	10	友情・信頼	友達と仲よくし、助け合うこと 人間関係を築いていくこと
	11	相互理解・寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること
C 集団や 社会との 関わり	12	規則の尊重	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること 法やきまりを理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと
	13	公正、公平、 社会正義	自分の好き嫌いとらわれないで接すること 誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること
	14	勤労 公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと 社会に奉仕することの意義を理解し、公共のために役に立つこと
	15	家族愛 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること
	16	よりよい学校生活 集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること
	17	伝統と文化の尊重 国を愛する態度	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと
D 生命自然 崇高	18	国際理解・ 国際親善	他国の人々や文化に親しむこと 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること
	19	生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること
	20	自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること 自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること
	21	感動・ 畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと 美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつこと
	22	よりよく生きる喜び	よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し、人間として生きる喜びを感じる
E 上記以外 の内容	23	基本的生活習慣の習得	基本的生活習慣を習得するためのノウハウに関わるもの (挨拶、衣服の着脱、食事、手洗い・うがい、入浴、排泄、就寝など)
	24	生活・安全上のきまり、 対応の仕方	公共マナー、公園や図書館などの公共施設の使い方、遊具の使い方、約束事、交通安全、交通機関の利用の仕方、災害発生の対応など
	25	遊び、遊び方など	伝承遊び、集団遊び、外遊び、部屋の中での遊び、ゲームなど(鬼ごっこ、じゃんけん、折り紙、あやとりなど)
	26	表現、想像など	イメージに関すること 例：言葉・文章から自分で色や絵・音、匂いを想像すること、 絵や色・図形から物語を想像したり感情を思い描いたりすること など (例えば「えがなえほん」「旅の絵本」など)
	27	行事、イベントなど	家庭や園、学校、地域で行われる行事やイベント(誕生会、散歩、遠足、入園式、卒園式、 運動会、祭りなど) 季節に応じて行われる行事やイベント(七夕、豆まき、雛祭り、ハロウィン、クリスマスなど)
	28	学習	学習、知識に関わるもの(いわゆる「学習絵本」) (言葉、ものと文字、数や図形・ 量・重さ、生き物・草花・天体・石など、働く人・施設・乗り物、地名など、各教科の 学習に関わるもの)
29	その他	上記の項目どれにも当てはまらないもの ※自分なりに対象の絵本のテーマについて 項目付けするとしたら、どんな絵本だと考えられるか、() 内に記入してください。 わからなければ、未記入でも結構です。	

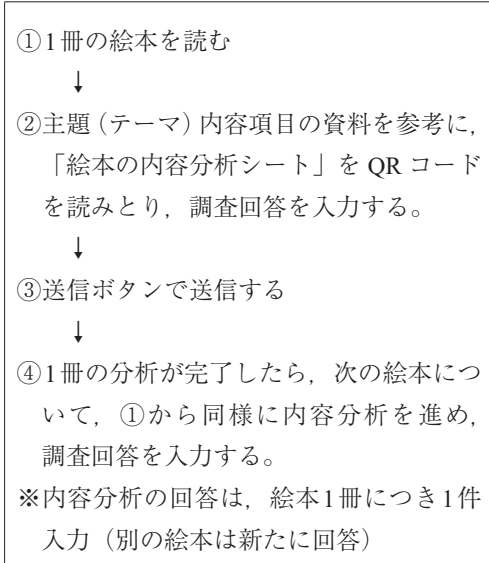


図 1 調査の流れ

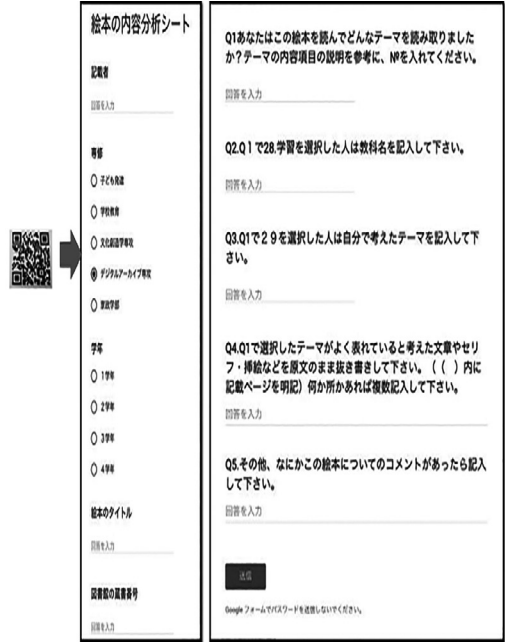


図 2 絵本の内容分析シート

表 3 「ももたろう」の主題分析結果

「ももたろう」 主題の内容項目	選択 件数
1. 善悪の判断, 自律, 自由と責任	2
5. 希望と勇気, 努力と強い意志	6
7. 親切, 思いやり	1
10. 友情・信頼	4
14. 勤労, 公共の精神	1
19. 生命の尊さ	1
22. よりよく生きる喜び	1
有効回答数	16

表 4 「ともだちや」の主題分析結果

「ともだちや」 主題の内容項目	選択 件数
10. 友情・信頼	13
有効回答数	13

13件中すべての選択者が「No.10 友情・信頼」項目を選択した。この主題がよく表れているとした箇所に関して、選択者は次のように記述している。

・オオカミがキツネに対し、友達から金を取るのかと本当の友達について教えている場面。

選択者は、この場面の台詞を抜き書きしていることが顕著であった。「ともだちや」の絵本は、タイトル自体に「友達」という言葉が使われていること、友達と仲良くし互いに理

解し合い信頼するなど「友達」の意味について読み手に考えさせるような台詞が多く含まれていることなどから、No.10の主題に選択が集中したと考えられる。

この絵本は、一つの強いテーマ性をもっており、読み手にそれが明確に伝わる内容であると考えられる。

5 まとめ

前記した以外の他の絵本についての分析結果も含めて考えてみる。絵本によって、特定の主題がどの読み手にも強く読みとれる強いテーマ性をもった絵本がある。このような絵本には他に、例えば「No.15 家族愛, 家庭生

活の充実」の主題を多く読みとった「おおかみと七ひきのこやぎ」があげられる。一方、主題に関して、ある特徴的な傾向はみられるものの、読み手によって、絵本の主題やそれを感じ取る場面、心に残る場面が異なるものがあることがわかった。このような絵本には他に、例えば「No.10友情, 信頼」の主題を読みとった件数が最も多かったものの「No.15家族愛, 家庭生活の充実」「No.16集団生活の充実」なども読みとった「おおきなかぶ」があげられる。絵本の主題の読みとりについて、読み手によって主題やその文章、場面の違いはあるものの、特徴的な傾向がみられることが明らかになった。さらに、今回の調査を通して、主題の内容項目の有効性がわかった。

絵本は、子どもが日常的に親しみ、子どもも大人も、様々なことを学んだりイメージを豊かに広げたり心を通わせたりするものである。多くの保育者や保護者は、絵本を選書する際、絵本の内容や表現、読みとれる主題など、何らかの意図をもって手にとる。本論で得られた調査分析をもとに、今後は絵本から読みとれる主題がわかる「絵本リスト」の作成を考えている。その内容は、タイトル・表紙・作・絵・出版社名・対象年齢・あらすじ・主題・主題に関わる箇所等を明記したものである。この絵本リストを効果的に活用して、絵本を通して、子どもたちに豊かな学びや心が育まれることを願っている。

参考文献

- 1) 藤岡久美子, 伊藤恵里奈 (2016) 幼稚園における絵本の読み聞かせの選書の分析 山形大

- 学教職・教育実践研究 vol. 11 pp. 59～68
- 2) 森希理恵 (2019) 領域「言葉」における学生の絵本選択理由の検討 大阪キリスト教短期大学紀要第59号 pp. 58～72
 - 3) 上山伸幸 (2019) 幼稚園教諭に求められる絵本の知識に関する一考察～養成課程における選書力の育成に着目して～ 創価大学教育学論集第71号 pp. 67～80
 - 4) 梶谷恵子, 脇明子, 湯澤美紀, 片平朋世 (2015) 保育者を対象とした絵本選書の研修 紀要第60号 pp. 133～141
 - 5) 松井直 (1973) 絵本とは何か 日本エディタースクール出版部
 - 6) 正置友子, 大阪保育研究所 (2015) 保育の中の絵本 かもがわ出版
 - 7) 吉田寛 (2014) 子どもと一緒に読みたい絵本 玄光社
 - 8) 全日本私立幼稚園連合会 (2017) 読み方からおススメまで絵本ガイド
 - 9) 文部科学省 (2018) 幼稚園教育要領解説 フレーベル館
 - 10) 厚生労働省 (2018) 保育所保育指針解説 フレーベル館
 - 11) 内閣府・文部科学省・厚生労働省 (2018) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館
 - 12) 文部科学省 (2018) 小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編 廣済堂あかつき

<本論で取り上げた絵本>

- ・松井直:文, 赤羽末吉:画 (1965) ももたろう, 福音館書店
- ・内田麟太郎:作, 降矢なな:絵 (1998) ともだちや, 偕成社
- ・フェリクス・ホフマン:絵, 瀬田貞二:訳, (1967) おおかみと七ひきのこやぎ, 福音館書店
- ・内田莉莎子:再話, 佐藤忠良:画 (1962) おおきなかぶ, 福音館書店